

令和6年度 第1回議会報告会 まとめ

1. 開催日等 令和6年5月18日(土) 10:00~11:50 保健センター2階研修室
令和6年5月21日(火) 18:00~19:50 国府支所2階会議室
2. 出席議員 吉川重雄議長、二宮加寿子副議長、橋本秀彦議員、鈴木たまよ議員
亀倉弘美議員、玉虫志保実議員、竹内恵美子議員、鈴木京子議員、
石川則男議員、清田文雄議員、高橋英俊議員 毛利泰輔議員、
おかみゆき議員、庄子幸太議員
3. 参加人数 保健センター 会場 19名、オンライン5名
国府支所 会場 10名 総計 34名
4. アンケート結果 別添のとおり

5. 報告会における町民からの質問及び意見等

5/18(土) 保健センター

○第一部 令和6年度当初予算の審査報告・新庁舎整備事業

- (問) 新庁舎整備予算の32億5,000万円は、円安や機材はEUなので相当値上がりする、もう少し調査が必要ではないか。予算はいつ組まれたものか
- (答) 32億5,000万円は、令和5年3月までの新庁舎整備基本計画の中で設定された。議会も附帯決議を出し、町側へ、今後の経緯を丁寧に説明するように求めた。また事業費や工期については第二次新庁舎整備事業特別委員会で厳しく追及していく。
- (問) 追求していくというのは、一般会計の方は、町民に諮るということを行っているのか。
- (答) 予算提案権は町にある。町の提案が妥当な金額や内容になっているのかを第二次新庁舎整備事業特別委員会で随時質疑を行っていく。
- (問) 第二次新庁舎整備事業特別委員会では、物価高騰などを考慮したというのか。
- (答) 議会としては、働き方改革や世の中の変化など、様々な検討が必要であると、都度、行政に伝えている。行政からの提案に質疑を繰り返していくと思うが、最終的に議案として出てきた時に賛成するのか反対するのかなど、まだいくつかの大きな山があると考えている。
- (問) 実際の事業費との差額は、1億2億の範囲、あるいは10億単位になるかということ、町も特別委員会の方も承知しているのか。
- (答) 現時点では、町側からの正式な数字は出ていない。
- (問) もし、想定を超える追加が必要になった場合は、町民に真意を問うという話ではないのか。

- (答) 議決案件になった時に、議会に追加の根拠の説明がある。議会としてもその時に問うていく。
- (問) ゼロカーボン宣言をしている大磯町でカーボンゼロ達成に向けて実現実行できる施策の一つが新庁舎整備だと思う。長期継続的な光熱費削減の意味でも太陽光発電や断熱を含め討議して欲しい。
- (答) 新庁舎整備を提示するにあたり、6つの基本方針を定めたが、その中の1つに、環境と共生する省エネルギーな庁舎がある。
- (問) 新庁舎整備のことを町民に対して丁寧な説明をすると言うが、どのタイミングであるのか。
- (答) 町は大急ぎで準備を進めているが、22日の第二次新庁舎整備事業特別委員会で分かる範囲で答えると思う。
- (問) 委員は質問してくれるのか。
- (答) 委員としては聞くことになると思う。
- (問) 町の職員の賃金の給与条例の改定について、どのような議論がされたか知りたい。
- (答) 人事院勧告によるものと町独自の増額分で前年度より約1億7,300万円増額した。県内で真ん中程度との水準を目指したが期待には届かなかった。
- (問) 町のホームページの「町民のご意見」は、公表されていないし、名前を出しても返事も来ない。町民の意見はいろいろなものがある。匿名でもよいので意見は公表してほしい。
- (答) 公表するかどうかは町側の判断になるが、議会としてきちりと伝えていきたい。
- (問) 私の意見として、現町長が、大磯港の駐輪場で、以前注意を受けたにもかかわらず、今年も禁止されている野球をやっていた。
- (答) 今のご意見、その件については、初めて聞いたが、議会の方から町長にしつかりと申し入れる。
- (問) 「女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書」に対する議案について、女性議員3名が決議に反対している。反対の理由を伺いたい
- (答) 議員個人の賛否の内容をいう場ではないので、この場で述べるのは控えさせていただきます。
- (問) 必要な方は増えているはずだが、高齢者の医療費や介護保険料が減っている。町の補助金や職員が入っている社会福祉協議会が在宅サービスをほとんどしていないという意見もある。
- (答) ご意見として、議員14名、ちゃんと頭に入れた。

○第二部 グループによるフリートーク

Aグループ<観光について>

◇観光案内所建設について

- ・パブコメによりアンケート調査がありそれに答えたが、それに対するのフィー

ドバックがない。私たちの意見は繁栄されているのか、はなはだ疑問である。

- ・目安箱に投書しても返事がない。
- ・駅前整備のためとは言え、そもそも観光案内所は必要か。今の観光客、町への来訪者は、SNSやアプリを使い目的地を訪れているのでは。

◇明治記念大磯邸園について

- ・運営は指定管理によって行われるとのことだが、町の事業者が多くは入れる指定管理の事業者を選んでほしい。

◇その他

- ・町内に食事ができるお店がない。

Bグループ<公共施設・インフラ>

- ・現在、大磯港は砂利の荷揚げ所に使っているが、砂粉塵が発生しPM2.5が舞い上がり健康への懸念がある。平塚には港が二港あり移転してもらいたい。
- ・雨の日は特に大磯駅までの国道134号線は大渋滞する。最近ではガードレールの幅も22cmではなく6cmのものがある。変更してはどうか。
- ・大磯駅前が狭く、雨の日は特に大渋滞する。サンダースホームの土地を借りて広げられないか。
- ・昨年、大磯港の駐輪場で町長が野球をしていた。「町の声」に出したが回答がない。
- ・町の掲示板について、生活をよくするために使いたい。

Cグループ<福祉教育>

- ・いじめ問題、どうなるのか関心を持っている。高齢化・少子化、子育て支援対策はあるが、子どもは増えていない。晩婚・未婚に手を打たないと。全体含めた対応が必要と思う。
- ・人とのつながりが途切れた時に自殺が増えるのでは。通いの場は大切だが、使い勝手はどうなのか。場所が使いやすいように。例えば、ガンの体験者が集まりピアサポートをしているが、利用料の減免が分かりにくい。どんな市民団体があるかわからない。わかりやすいように案内してほしい。
- ・こどもプランの学習会をやっていると聞いた。子どもの居場所は大切。公開型の勉強会を議員としてもやってほしい。
- ・すばらしい町立の幼稚園教育が、民間事業者で変えられないようにしてほしい。議会でチェックしてほしい。
- ・議会と市民と一緒に勉強会をしてほしい。町は地域福祉計画を遅れてつくったが、持続的で大切なテーマである。
- ・教育長が変わった。期待したい。

オンライン<テーマ自由>

- ・町内の掲示板を政治の話合いができるようにもっと使ってほしい。

- ・いま大磯町で問題になっている学校のいじめについて、町民が参加して話し合える場をつくってほしい。
- ・大磯幼稚園が民営化されたが、公私連携として町の意向が反映されていくかチェックをしてほしい。
- ・職員の働き方は適切なのか、ハラスメントへの対応についてなど、若い職員が退職しないよう取組んでほしい。

5/21（火）国府支所

○第一部 令和6年度予算・新庁舎整備の報告

- 〔問〕新庁舎の4階までの高さは何メートルぐらいになるか。
- 〔答〕まだ、はっきりは決まっていないが、15メートルの高さ制限がある。
- 〔問〕津波はどのくらいの高さまで想定されているか。
- 〔答〕1階の60センチ位のところまで来ると想定している。
- 〔問〕データ等の管理について、極力、階層の下のほうに電源を持たないで、上の階層の方に持つようにしたらと思うが。
- 〔答〕ご意見として伺っておくが、大体そのように方向性は示されている。
- 〔問〕新庁舎整備の町債費というのはどのようなものか。
- 〔答〕町債費は、確かに町の借金だが、今回の事業債を活用すると、国が借金の一部を肩代わりしてくれる仕組みになる。
- 〔問〕緊急防災減災事業債は令和8年3月までに完成しなかったら、全く使えなくなってしまうものなのか。
- 〔答〕完成度に従って交付されるということで、それまでに完成しなければ全く交付されないというわけではない。
- 〔問〕新庁舎の建て替えについて他の候補地は無かったのか。
- 〔答〕ほかにも数か所候補地を立てたが、結果、前の計画を引き継いで、現在地に建てるということになった。
- 〔問〕国府地域の人間は、庁舎にしてもいつも不便を感じている。
- 〔答〕いろいろ町の事業もICT化を図り、必ずしも庁舎に来なくても良いように進めている。
- 〔問〕附帯決議について、工期や事業費の変更ということが書かれているが、あたかももう変更するような感じを受け止めるが。
- 〔答〕緊急防災事業債を活用した御坊市でも、さまざま心配や批判があったと聞いている。
- 〔問〕例えば7年度中に完成しなかった場合、その場合の不足については町債を発行するのか。
- 〔答〕町債をまた発行するとか、財政調整基金で充当したりする形になる。
- 〔問〕事業債の対象期間については、時間的余裕は持てないのか
- 〔答〕国で令和7年度中と決めている。期間の変更等があれば、その後の展開が違ってくる。

〔問〕 新庁舎整備事業の事業費についての詳細を。

〔答〕 今年度令和6年度は、アドバイザー業務委託、工事請負費も一部、駐車場の代替である県営駐車場利用料、役場とピストン輸送するバス使用料などが4億6,494万円を計上している。令和7年度事業して、32億5,000万円が建設費として組まれている。

〔問〕 32億5,000万円に全部含まれるということか。

〔答〕 新庁舎の建物の建築費用と現庁舎の解体費用になる。外構や庁舎内の備品は別になる。

○第二部 グループによるフリートーク

Aグループ<観光について>

- ・大磯は海や山の自然豊かなところであるのに、活用できていない。どちらに比重を置いているのか方向性がよく分からない。
- ・駐車場が少ない（多数意見あり）。
- ・丘陵地帯のハイキングコースの整備をしてほしい。特に高麗山周辺は県の管轄になるが整備して欲しい。
- ・大磯町の中で点在している見どころ拠点を結ぶような交通手段があったらいい。
- ・明治記念大磯邸園が整備されるが、大磯独自の特産品の開発、お土産、大磯でしか手に入らないものをつくり、観光客を誘致し町の活成化につなげてもらいたい。
- ・現在、開園している明治記念大磯邸園や旧吉田邸の庭園は、ペット禁止になっているが、ある程度のルールを決め、ペット解禁にしてほしい。

Bグループ<公共施設・インフラ>

- ・新庁舎については、地震の多い日本において、令和8年の3月末で終わりということはないのでは。慌てて建てるよりもシンボリックなものを造ってほしい。
- ・消防庁舎については、馬場地区や西小磯の土地に造ってはどうか。
(農振農用区域や市街化調整区域に造ることは難しいと説明。その件について調べると回答)
- ・高齢になると学校に避難しても学校のトイレは使いにくい。避難生活がスムーズに出来るよう、学校の洋式トイレ化をもっと強く主張してほしい。
(大磯小学校の体育館にバリアフリーのトイレを造った旨説明)

Cグループ<福祉教育>

- ・いじめ問題の経過を聞くと深刻である。行政・議会の対応の経過を説明してほしい（議員が説明）。このままでは、この町の教育委員会は何もしない、子どもを通わせられないと思っている。議会ですっかりしてほしい。公表は他の保護

者にもわかるようにしてほしい。

- ・西小磯の携帯基地局の電磁波被害で大変な思いをしている町民がいる。町の情報公開では黒塗りにされたので、実態が分からない。学校の子どものタブレットも心配。町でしっかり受け止めてほしい。
- ・老老介護は辛いと思う。参らないように柔軟な対応が必要と思う。
- ・通いの場、週1回は難しい。使いやすく工夫をしてほしい。
- ・通院の交通手段の確保が必要と思う。
- ・認知症の介護も大変。孤立しないように地域で支えられるように考えてほしい。気楽に集まれる場所が必要。ひきこもり・不登校の家族を支えることも必要

6. 反省・総括について（6/17 全協での意見）

【議会報告会のあり方】

- ・ずっと報告会を経験してきたが、相変わらず、来てくださる方々の顔がほとんど一緒。一般会議など議会の方から積極的に出て行って、いろんな方の意見を拾う行動をしないといけない。
- ・一般会議をもっとやりやすい形でできないかと、議運でも議題になっている。今回、議員と一緒に勉強をしたいという意見もあった。
- ・一般会議はすごく大変で、会議録まで作らないといけないが、もう少し緩い感じのものをやっていければと思う。
- ・参加された皆さんの声、アンケートなどを生かしてやっていければと思う。
- ・議運などで、一般会議はハードルが高いという話が出ていた。議会報告会は、年2回、予算と決算をやる、という取決めがされているので、その辺りは大きく外すことがなかなかできないとのこと。いたし返しもあるが、議会報告会をどうしていくかというよりも、一般会議やそれ以外の方法をもう少し柔軟に皆さんで決めていければいいと思う。
- ・個人の活動報告会を行なったが、やはり我々も出ていく、議会へ来てくれ、ではなく、議会から出て行って意見を聴くスタンスが大切ではないか。
- ・厚木市では常任委員会単位で報告会を行なっている。常任委員会で一番問題となっているようなものを報告会にして皆様に来ていただく、という方法も一つあるのではないか。
- ・予算、決算の報告会は欠かせない。これは条例を変えなければいけないが、常任委員会単位で行うなども考えてよいのではないか。
- ・常任委員会単位ということで、以前、意見交換会という形をとれないかという意見が出た。例えば5人や10人単位でも、そこに議員が出て行って、常任委員会委員長に任せるなどできるのでは。
- ・一般会議ではなくて意見交換会ならいろんな意見が交換できる。議員個人の考え方を言ってもいいし、町民が自由に意見を言えるなら、表題が一般会議や報告会ではなく、意見交換会という形なら、我々も答えを出す必要もないし、そういう考え方があるんですね、ということ積み重ねていける。それにより、

議会内が良くなる方向に行くのではないか。

- ・最近、議員同士の意見交換が少ないと思う。自由、闊達な議会を目指すには、議員同士の意見交換、それをどこかでやる必要があると思う。
- ・年2回、予算と決算を報告しなければならない。それは条例改正をしてもいいのではないか。
- ・町民は、それぞれ個人の意見を聞きたいと思っている。常任委員会であろうが議会としてやろうが、議員個人の報告会のような答えはできるのだろうか。できないのであれば、町民とは平行線なのではないか。
- ・予算と決算については実施すべきだし、常任委員会でもやったほうがいい。
- ・来場者が少ない→多くの人に訴求できていない→一方的に「報告する」というあり方が町民の需要にあっていない→条例改正の必要がある

【第2部：フリートークについて】

- ・町民の方々と意見交換を多く行うことができた。

【議会全体の改革の必要性】

- ・そもそも議会に関心を持つ人が少ない→関心を持つ町民が決まってしまっている→関心のなかった層（子育て世代、現役世代、子ども、若者）の掘り起こしが必要→全体の見直しが必要（マンネリ化からの脱却）

・議会傍聴・議会だより・議会報告会・議会ウェブサイト

→開成町議会の取り組みなどを参考に町民により開かれた議会改革について検討する必要がある。

【その他】

- ・執行者である町部局と執行者を質すべき立場にある議会の役割、分担については、町民の理解をいただく必要を感じた。